

科目名	患者・家族の心理 (Patient & Family Clinical Psychology)			科目コード	150
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	4年次前期	関連DP	
担当教員	中平 洋子、高田 智世、細川 翔				
授業概要	様々な局面にある患者・家族の心理について、文献や当事者の語り、患者疑似体験から学ぶ。これらの学びをもとに、検査場面での対応について研鑽する。				
授業目標	臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶ意義が理解できる。 様々な局面にある患者・家族の心理が理解できる。 患者・家族の心理を踏まえ、検査場面における適切な対応について考えることができる。				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	臨床検査と患者の心理	検査時の患者心理と検査結果のもつ意味 これからの臨床検査技師に求められるもの	中平洋子 高田智世
2	患者・家族の体験	患者・家族が医療従事者に何を望んでいるのか、当事者の声から聴く(教育協力者)	
3	家族の心理	家族とは何か 患者にとっての家族、家族にとっての患者	中平洋子
4	臨床検査技師と患者・家族の心理	臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶことの意味	高田智世
5	様々な局面における患者・家族の心理	グループワークにおいて発表準備	中平洋子 高田智世
6	様々な局面における患者・家族の心理	グループワークの成果発表	
7	患者疑似体験 検査時の患者への対応の実際	妊婦体験・高齢者疑似体験・車椅子体験 患者・家族にわかる説明と安心をもたらす対応について考える	中平洋子 高田智世 細川 翔
8			
成績評価方法		文献探索グループワーク・発表(40点)、演習事前レポート(10点)、 総括レポート(50点)	
教科書		なし	
参考図書		岡堂哲雄「病気と人間行動」(中央法規出版) 友安直子「プロに学ぶ患者接遇」(医学通信社)	
授業時間外の学習について		演習事前レポート(個人課題)があります	
関連科目		129 コミュニケーション論、446 臨地実習Ⅲ	
備 考		実 中平：保健師(保健所)、高田、細川：臨床検査技師(医療機関)	